

全国原発性肝癌追跡調査に関する研究

研究の対象

2018年1月1日～2019年12月31日に臨床診断、切除標本や生検による病理診断、剖検により原発性肝癌と診断された方

研究目的・方法

原発性肝癌の統計及び追跡調査を行うことにより、原発性肝癌の治療実態を検討することによって治療成績の向上を目指し、その際に論文として発表し世界の肝癌患者さんの治療成績に資することを目的としています。

原発性肝癌と診断された各症例における血液検査、病理検査、治療情報、再発情報、予後情報をデータセンターの症例登録システムを利用してデータを収集します。

研究期間

2008年6月1日～2027年12月31日

研究に用いる試料・情報の種類

情報：生年月日、病歴、検査所見、治療情報、再発情報等

調査項目は、下記の「National Clinical Database: Case Report Form 記入の手引き」をご参照下さい。

National Clinical Database: Case Report Form 記入の手引き

研究組織

日本肝癌研究会 追跡調査協力施設 776 機関

日本肝癌研究会ホームページ

外部への試料・情報の提供

データは病院外に設置したデータ登録用サーバーに登録されます。登録項目について、特定の関係者以外がアクセスできない状態で、データを収集します。対応表は、各病院で保管、管理します。

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

日本肝癌研究会 追跡調査委員長

工藤 正俊

日本肝癌研究会事務局

大阪府大阪狭山市大野東 377-2 近畿大学消化器内科内

電話：072-368-1901 / Fax：072-368-1903

e-mail: kangan@nihon-kangan.jp